

高校生国際理解プログラム
「世界の入口に立とう」
募集要項

平成 20 年度

日程：平成 20 年 8 月 22 日（金）

場所：横浜国際センター（JICA 横浜）

主催：財団法人かながわ国際交流財団（KIF）湘南国際村学術研究センター
独立行政法人国際協力機構（JICA）横浜国際センター

1. 目的：

国際的諸問題に興味・関心のある高校生、および国際理解教育(開発教育)に高い関心を有する先生方が集い、参加型学習(ワークショップ)や JICA の技術研修員との交流会、グループ・ディスカッションなどへ参加することを通して、世界の現状・課題や国際協力についての知識と理解を深めることを目的とします。

2. 実施日時：

平成 20 年 8 月 22 日 (金) 9:20~16:00 (9:00 受付)

3. 主催：

財団法人かながわ国際交流財団 (KIF) 湘南国際村学術研究センター
独立行政法人国際協力機構 (JICA) 横浜国際センター

4. 実施場所：

横浜国際センター (JICA 横浜)
〒231-0001 横浜市中区新港 2-3-1
TEL. 045-663-3220 FAX. 045-663-3265

5. 対象者：

神奈川県内の高等学校に在籍する高校生および先生方で以下の要件を全て満たす者。

- (1) プログラムのすべてのセッションに参加可能な方 (生徒・先生とも)
- (2) 学校長より研修参加の許可が得られる方 (生徒・先生とも)

6. 募集人数：

50 名 (1 校につき生徒 3~4 名・引率教諭 1 名のグループで参加して頂きます。)

7. 申込方法：

本要項 5 ページにある参加申込書に必要事項をご記入の上、JICA 横浜まで、FAX または郵送にてお申し込みください。

【宛先】

FAX 番号 045-663-3265

〒231-0001 横浜市中区新港 2-3-1 JICA 横浜 市民参加協力課(担当：向井)

※1. 参加が決定した学校には 7 月上旬に主催者よりその旨通知いたします。

※2. 本要項は、以下のホームページよりダウンロードできます。

JICA横浜: <http://www.jica.go.jp/yokohama/jigyo/rikai.html#a06>

KIF: <http://www.k-i-a.or.jp/shonan/work/k-pit/index.html>

8. 申込締切：平成 20 年 6 月 30 日 (月) 必着

9. 参加費：

無料。ただし、JICA 横浜までの往復交通費については、各自負担願います。（当日の昼食は主催者側で用意いたします。）

10. プログラム概要：

1) 午前プログラム(企画運営:KIF)

参加型学習（ワークショップ）やグループ・ディスカッションなどを通じて、世界の現状を知り（国際理解）、国際社会で生きる力（多・異文化理解マインド、思考力、実践力）を備えた人材を育成します。

参加者同志が交流しながら国際的なことについて楽しく学ぶセッションです。フレンドリーなスタッフや大学生アドバイザーが、皆さんの交流や学びをお手伝いします。学校・学年などの枠を超えて仲間をつくり、世界への第一歩を踏み出そう！

●アイスブレイキング

学校や学年を超えた、参加者間のコミュニケーションを促進します。

●ワークショップ①、②

世界の諸問題に目を向け、考え、意見を交換するセッションです。

2) 昼食・午後プログラム(企画運営:JICA)

JICA 横浜では開発途上国の国づくりの中核を担う技術者や行政官を対象に、技術研修を行っています。横浜に滞在している研修員と昼食を共にしながらの懇談、交流を通じて、多文化に直に触れ、世界についての理解を深めます。

[沿岸漁業資源管理コース]の研修で世界各国から来日しているみなさんと、いろいろなお話をしてみよう！ 地球上で生きていくために必要なこと、考えなければならないことをインタビューを通して感じてみよう！

●JICA 技術研修員とのランチミーティング

研修員を囲んでランチをとりながら、研修員の出身国のお話を伺ったり、日本の様子を伝えたりしながら、お互いの国について学びます。

●JICA 技術研修員との交流会

各参加校で、テーマや話題を決めて、英語での交流を行います。テーマ・話題に沿った小道具を準備したり、説明内容を整理しておくなどの事前学習を行っています。

※ 参考までにこれまでの交流会の事例をご紹介します。

(事例1) ジェスチャーゲーム

日本と海外の表現の違い等から世界の文化や週間の違いを知り、異文化に興味を持って、お互いを尊重する大切さについて考えます。

(事例2) 日本についての紹介

日本についての文化・社会・季節・行事等についての紹介を行い、研修員に日本について知ってもらいながら研修員のお国の事について聞いてみることを通して国際理解を深めます。

☆ 過去の交流会で取り上げられたテーマ

- ・ 日本の祭事・行事に関わること(お正月、ひな祭り、こどもの日、七夕など)
- ・ 日本の文化について(書道・茶道・お花など)
- ・ 伝統的な子供の遊び(折り紙・けん玉・羽つき・独楽など)
- ・ 日本の紹介 クイズ
- ・ その他(民族衣装・浴衣の紹介)

(事例3) Sing a Song! (研修員と一緒に歌を唄おう)

英語の歌を研修員と高校生と一緒に歌い、歌詞の意味を考えながら国際理解に関連するテーマを議論します。

☆ 過去取り上げられたテーマ

ジョン・レノンの「Imagine」を唄い、歌詞の一文・単語が意図する内容を話し合い、戦争や平和について考えます。

3) ふりかえり

1日の学びの成果をふりかえります。研修を通して各自が感じたこと、考えたこと、発見したことを再確認します。ふりかえることによって、これまで持っていた価値観や感情、知識が掘り起こされ、他者に伝えることのできる「気づき」として意識化することができます。

11. 日程 (予定) :

時間	内容	担当
09:00～	受付	
09:20～09:30	開会式	JICA 横浜 KIF
09:30～09:40	アイスブレイキング	KIF
09:40～11:10	ワークショップ① (途中休憩有り) 「世界がもし100人の村だったら」(仮題) 上條直美(立教大学ESD研究センター プログラム・コーディネーター)	KIF
11:10～11:20	休憩	

11:20～12:50	ワークショップ② 「目に見えないものを考える～『国際』とはなにか」 江藤裕之（東北大学大学院国際文化研究科准教授）	KIF
12:50～14:00	研修員とのランチミーティング	JICA 横浜
14:00～15:30	研修員との交流会	JICA 横浜
15:30～16:00	ふりかえり 閉会式	JICA 横浜 KIF
16:00～	解散*	

* 解散後、希望者は JICA 横浜内に併設されている海外移住資料館の見学（入館は 17:30 まで）が可能です。

本プログラム参加にあたって

本プログラムは参加型プログラムであり、各参加者には自分達が主体的にプログラムを作っていくという自覚と積極性が求められています。研修員との交流では研修員の母国の地理や生活習慣に対する興味・関心を持ち、研修員はもとより参加生徒同士の活発な意見交換が期待されます。

事前準備(外国人研修員との交流)について【重要！！】

[1] 参加が決定した高校は、7月18日(金)までに ①参加者の簡単なプロフィールと ②高校の紹介文（書式自由、参加者の写真やイラストも含む）を **A3の紙2～4枚**に英文で作成し、高校ごとに取りまとめた上で、JICA横浜へ送付していただきます。送付されたものをJICA横浜内に掲示し、当日参加する研修員に事前に紹介します。

[2] 参加者は、高校生活や住んでいる地域の話題などを紹介できるように準備をしてきてください。また、研修員とのコミュニケーションは“英語”となりますので、簡単な自己紹介等もできるようにしておいてください。

【高校生国際理解プログラム 問い合わせ先】

JICA 横浜（担当：向井） tel： 045-663-3220

E-mail: yictpp@jica.go.jp

KIF（担当：今井） tel： 046-855-1822

E-mail: imai@kif.ac

